

博物館 網走監獄行刑資料館リニューアル
～ノンフィクション・インパクト～

博物館 網走監獄の行刑資料館は、平成22年2月1日にリニューアルオープンを致します。

これまでの年表や活字を読み深め頭で理解する資料館から、音や映像を駆使した身体で感じる 五感に訴える「参加体験型」の「監獄歴史館」に変わります。

今回のリニューアルのポイント

①現在の網走刑務所の共同室（雑居房）、単独室（独房）を忠実に再現致しました。

当館のメイン施設である五翼放射状平屋舎房（明治45年建築、昭和60年移築復原）の雑居房並びに独居房との比較が可能になります。

②囚人達が辿った道路開削工事の様子を音と映像で体感いただけます。

網走監獄の行刑の歴史・変遷の中、最も過酷で悲惨だった中央道路開削の実態を事実に基づきながら、日本初の大迫力「体感シアター立体3面映像（レイヤード・スクリーン・システム）：赫い囚徒の森」—知られざる220kmの苦難—と造形、演出照明、立体音響、スモークマシーンなど様々な演出装置を駆使した分かりやすく、強烈な印象のエンターテイメント劇場を5分30秒で体感していただけます。

③中央道路開削を始めとする囚人が携わった開拓を体験していただけます。

大きな岩をかついでみる、鉄丸とよばれる戒具を装着しての作業、丸太の枕で寝てみるなど囚人が実際におかれていた状況を体験していただけます。

この他にも、人口わずか631人程度の小さな漁村にある日突然やってきた監獄、一変した網走の街、設立当初の監獄の実態、ロシアの脅威にさらされていた当時の日本、そして北海道開拓の先兵として、過酷な運命を背負わされた囚人たちの姿を迫力ある音と映像でお楽しみいただけます。

平成21年12月現在

展示方法に変更が生じることがあります。

監獄歴史館



日本初の大迫力「体感シアター」
赫い囚徒の森—知られざる220kmの苦難
イメージ



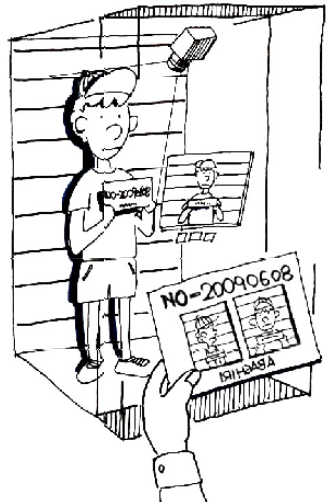
現在の共同室と単独室
イメージ



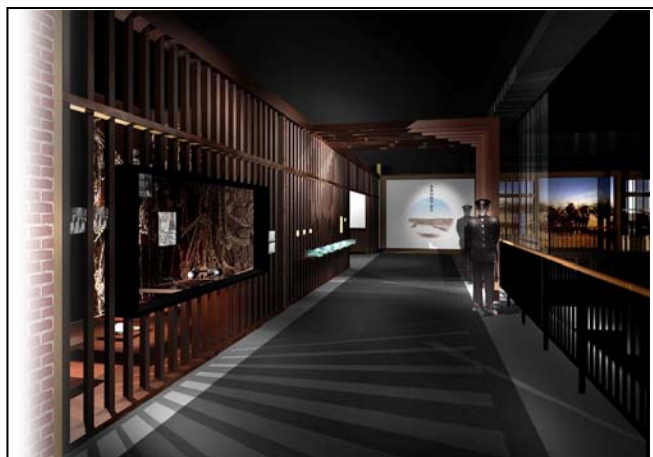
鉄丸体験 イメージ



網笠体験 イメージ



監獄写真館 (仮称)



博物館網走監獄